

3月8日（土）に配送仕事で岩手県宮古市に行った時の事、魚市場のある出崎埠頭の所で待機していたら、どこからともなく「うさぎ追いしかの山♪」と故郷の歌が聞こえてきました。「何だろ？」と思ったら、右翼の街宣車が故郷の歌を流しながら近付いて来て岸壁の所に停車し、男性が街宣車から降りて献花しつつ海に向かって手を合わせていました。

街宣車の兄ちゃん

珍しいので声を掛けて「兄ちゃん何してんの？」と聞いたら「3月11日が近いので震災で犠牲になった方々に手を合わせている」と言いました。「何で今日？11日にすればいいじゃん」と言ったら、「11日は平日なんで仕事がある」との事でした。「へー、兄ちゃんこんな街宣車に乗って来て右翼なんだろ？普通に平日に仕事してんの？真面目さんだな、偉いな」とか話をしていたら、少しだけ話に花が咲いた？と申しますか、話し掛けられたのが嬉しいと言っていました。やはり右翼とかしていて街宣車に乗っていると色眼鏡で見られる事が多いのでしょう。

真面目な右翼

話をしてみると意外に気さく？でした。「何で右翼してんの？」と聞いたら「今の日本は間違っているっ！」と言い出したので、「どこが間違っているの？」と突っ込んだら、理路整然と「政権与党が国民の為の政治をしていない」とか言うんですよ。「ヤバイ、似た者同士か」と思ってしまいましたが、その右翼のNくんは「これから山田町、大槌町、釜石市まで献花して拝みながら行きますので、またどこかで見掛けたら声を掛けて下さい」と言いながら街宣車で走り去って行きました。反社とかではなく真面目？な右翼も生き残っていたんだと思った次第でした。今の右翼団体は似非右翼が多くて迷惑ですからね。

喧嘩より献花を

因みに私は何故か昔から右翼が街宣していると一応、街宣を聞き、質問してしまいます。例えば前述した様な、今の日本は間違っている、どこが間違っているの？とか。以前は天皇陛下バンザイと騒いでいる右翼に、「あなたは天皇陛下を敬っているんですか？敬っているならば何故、街宣車に十六八重表菊紋を描いてるんですか？敬っている天皇陛下の菊紋を勝手に使っていいんですか？」等々、質問をしたら殴り掛かってこられた事もありました。普通に静かに質問しただけなのに話し合いになりませんでした。それに比べて宮古市で出会った右翼のNくんは礼儀正しかったし、質問にもちゃんと答えてくれて話し合いになりました。喧嘩より献花ですよ。

（岩手県大槌町 小川 孝幸）